

令和6年度 保健体育科「保健」シラバス

単位数	1 単位	学科・学年・学級	普通科 1年 A組 ～ E組
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けようとする。
 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作りを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	1 現代社会と健康	1 健康の考え方と成り立ち	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな健康の考え方や健康を成り立たせている要因について。 ・わが国の健康水準の変化とその背景や現在の健康問題について。 ・生活習慣病の種類と要因や一次予防、二次予防について。 ・がんの種類や原因、一次予防や二次予防について。 ・がんの主な治療法や緩和ケア、がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について。 ・健康と運動の関係や、目的に応じた健康的な運動のしかたについて。 ・食事と健康の関係や健康的な食事のとり方について。 ・健康と睡眠の関係及び適切な休養のとり方や健康によい睡眠のとり方について。 	発言内容 保健ノートまとめ ワークシート
5		2 私たちの健康のすがた		
6		3 生活習慣病の予防と回復		
7		4 がんの原因と予防		
8		5 がんの治療と回復		
9		6 運動と健康		
10		7 食事と健康		
11		8 休養・睡眠と健康		
		学期末考査		学期末考査
9		9 喫煙と健康	<ul style="list-style-type: none"> ・喫煙者やその周囲の人に起こる害や喫煙対策について。 ・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響や飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響、薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例について。 ・精神疾患の例をあげ、発病の要因と主な症状について。 ・現代社会における精神保健の課題について。 	発言内容 保健ノートまとめ ワークシート
10		10 10 飲酒と健康		
11		11 11 薬物乱用と健康		
12		12 12 精神疾患の特徴		

11		1 3 精神疾患の予防	・精神疾患を予防する方法と早期発見のために必要なことについて。	
		1 4 精神疾患からの回復	・精神疾患の治療や適切な治療や回復について。	
12		1 5 現代の感染症	・感染症とは何か、新興感染症と再興感染症が流行する要因について。	
		1 6 感染症の予防	・感染症の予防対策や感染症への個人と社会の対策について。	
		1 7 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点や予防とその対策について。	
		1 8 健康に関する意思決定・行動選択	・意思決定・行動選択に影響を与える要因や適切な意思決定・行動選択の際の工夫について。	
		1 9 健康に関する環境づくり	・社会環境の健康への影響やヘルスプロモーションにもとづく環境づくりの特徴について。	
		学期末考査	学期末考査	
1	2 安全な社会生活	1 事故の現状と発生要因	・事故の実態と被害の実態や事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて。	発言内容 保健ノートまとめ ワークシート
2		2 安全な社会の形成	・安全のために必要な個人の行動やすべての人たちの安全を確保するために必要な環境整備について。	
3		3 交通における安全	・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備や交通事故における責任について。	
		4 応急手当の意義とその基本	・応急手当の意義や傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントについて。	学年末考査
		5 日常的な応急手当	・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について。	
		6 心肺蘇生法	・心肺蘇生法の方法と手順について。	
		学年末考査	学年末考査	

3 評価の観点

知識・技能	健康を保持増進するための課題の解決に役立つ、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善するための基礎的な事項を理解しているか。
思考・判断・表現	健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表しているか。
主体的に学習に取り組む態度	自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、学習活動に意欲的に取り組もうとしているか。

4 評価の方法

3 観点に基づいて、各単元ごとの学習活動に即した評価規準を設定し、観点別学習状況の評価を実施し、総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

授業に真面目に取り組む。
 保健ノートを活用し、しっかりまとめる。
 欠席しない。
 生活で実践できるように取り組む。

